

PRESS RELEASE

報道関係者 各位

2013年11月15日

伊・アルカンターラ  
イタリア国立 21 世紀美術館 (MAXXI) とのコラボレーション企画  
『PLAYFUL INTER-ACTION』展示会 11月12日に開幕  
デザイン作品が観衆/プレーヤーのためのインタラクティブゲームに



【イタリア・ローマ発】イタリアの高級カバーリング素材メーカーのアルカンターラ社(本社:ミラノ)とイタリア国立 21 世紀美術館(以下 MAXXI)のコラボレーション企画、Alcantara-MAXXI の第 3 回となる『PLAYFUL INTER-ACTION』展示会が 12 日に開幕しました。

このコラボは、現代のクリエイティブによる新しい表現を探ることを目的に 2011 年に初めて開催され、今年で 3 回目を迎えるコラボレーション企画です。今回の展示会『PLAYFUL INTER-ACTION』(開催場所:イタリア国立 21 世紀美術館 (MAXXI) / スカルパ・ルーム、開催期間:2013 年 11 月 12 日~2014 年 1 月 5 日)では、これまでも知られていながらあまり探究されてこなかった側面、素材としてのアルカンターラの繊細な多感覚性に迫ります。本展示会の目的はまさに、すでに日常生活の一部となっているアルカンターラという素材の特別な性質を、現実に体感できる方法で表現することにあります。



今回の展示制作を依頼されたのは、すでにインタラクティブ・デザインの世界で定評と名声を得ている 2 つのクリエイティブ・グループ、ファブリカとスタジオ・ミナーレ・マエダです。キュレーターであるジュリオ・カッペリーニ(アルカンターラ社アートディレクター)とドミティラ・ダルディ(MAXXI 設計デザイン・キュレーター)が両グループを招いた理由は、彼らがいわゆる「リレーションデザイン」の先駆者であるからです。インタラクティブ性は今回の展示会のメインテーマであり、触覚と視覚、触覚と聴覚、触覚と嗅覚の連携により、観衆がアルカンターラに触れたり、見たりするだけでなく、聞いたり嗅いだりという体験もできるのです。

【本企画のキュレーター、ジュリオ・カッペリーニとドミティラ・ダルディ】

2011 年の『Can You Imagine?』、2012 年の『Shape Your Life!』が成功した後、今回 3 度目の Alcantara-MAXXI プロジェクトでは、2 人のキュレーターが素材の本質にまっすぐに迫る道を選びました。キュレーターのジュリオ・カッペリーニとドミティラ・ダルディは次のように述べています。「2 つのデザイナー・グループには、まず触覚と視覚に始まり、他の可能性の探求へとつながる多感覚的体験を引き起こす作品を作るよう依頼しました。その結果生まれるのは一種の共感覚です。この共感覚を得るためには、観衆の貢献が不可欠です——観衆と作品とのインターアクションは作品の一部であり、他者の関与によってはじめて存

在する作品なので」ファブリカの制作した 2 つのインスタレーション作品「Pendulums (振り子)」と「Shiver (ふるえ)」は、音と光を扱ったもので、観衆が作品にさわることでインターアクション(相互作用)が始まります。スタジオ・ミナーレ・マエダの 2 人の作品「Essences, Compounds, Particles (エッセンス・結合・分子)」は嗅覚の世界を扱っており、観衆/プレーヤーは新しい形や香りを作り出すこととなります。

『PLAYFUL INTER-ACTION』の展示を見て歩く観衆は、これまでにない知覚の混交を体験します。それは無限の応用可能性を秘め、多数のカラーとテクスチャ、比類ない汎用性を備えたアルカンターラ素材の表現力を深く追求していく、まさに五感のシンフォニーといえます。

Alcantara-MAXXI プロジェクトの 3 年間の活動によって、美術館と企業という 2 つの組織が力を合わせ、スキルや経験を継続的に交流することができました。これはクリエイティブ性の非常に高い共同作業と対話のひとつのモデルとなり、数年の間に 20 名以上の有名デザイナーやの若い才能が関与してきました。

MAXXI 財団プレジデントのジョバンナ・メランドリは次のように述べています。「MAXXI とアルカンターラの関係は戦略的なもので、美術館と企業との協力への新しい形を探るものです。MAXXI とアルカンターラはともに、新進気鋭のクリエイティブな人材への支援・プロモートを中核事業の一部としており、この種の共同事業は従来のスポンサーシップの枠を大きく超え、全関係者に実りをもたらすクリエイティブな関係への道を開きました」

アルカンターラ社代表取締役社長兼 CEO のアンドレア・ボラーニョは次のように述べています。「私たちがひとつ確信していることは、現代の企業と美術館の間の効率的な関係の意義が、新しい表現の世界を探ろうとする明確な意思にあるということです。企業が単なるパトロン役から離れて真の協力関係を築くということであり、それは何よりもまず知識の相互交換から生まれてきます」

MAXXI 建築部門ディレクターのマルゲリータ・グッチョーネも同じビジョンを抱いています。「Alcantara-MAXXI のプロジェクトは、企業と建築美術館とがコラボレーションする新しいモデルです。今回の交流によって両者とも、共通の斬新なビジョンを見すえた真剣な対話の機会が得られました。この 3 年間、各国から参加した 21 人のデザイナーのおかげで、私たちは未来を目指し、MAXXI の展示スペースを使ってアルカンターラというすばらしい素材の創造性・汎用性を実験してきました」

アルカンターラと MAXXI の 3 年間のパートナーシップから生まれた成果として、同美術館におけるカタログ販売が決まりました。2011 年の『Can You Imagine?』、2012 年の『Shape Your Life!』、2013 年の『Playful Inter-Action』の 3 つの展示会で生まれた多数の作品、関係した人物やプロジェクトの概要などを伝えるカタログです。

### 展示会:『PLAYFUL INTER- ACTION. Alcantara-MAXXI プロジェクト』について

開催期間: 2013 年 11 月 12 日～2014 年 1 月 5 日

オープンセレモニー: 2013 年 11 月 12 日

開催場所: イタリア国立 21 世紀美術館 (MAXXI)

住所: via Guido Reni 4 A, 00196 Rome



### イタリア国立 21 世紀美術館 (MAXXI):

イタリア国立 21 世紀美術館(以下 **MAXXI**)はイタリア初の現代美術館です。本美術館はイタリアの文化財・文化活動省が 2009 年に設立した財団によって運営されています。ザハ・ハディド (Zaha Hadid) の設計した本美術館は、芸術や建築、そして写真、デザイン、トレーニング、子供向けプログラム、会議、セミナー、映画祭、ライブパフォーマンスなど、今日のあらゆる創造的表現の実験と革新のための学際的な総合施設です。MAXXI の面積は 29,000 平米、大きなオープンプラザを中心に、講堂、イベント・教育活動用スペース、2 つのカフェ、MAXXI 21 レストラン、2 つの書店のほか、Wi-Fi 接続エリアを持つ広いプラザもあり、公共イベントや固定作品の展示、その他関連活動に利用されています。MAXXI の収蔵品はローテーションによって特別展とともに展示され、また Anish Kapoor、Sol Lewitt、Maurizio Mochetti、Giuseppe Penone によるインスタレーション作品はいつでも見ることができます。MAXXI の研究センターである MAXXI B.A.S.E. (B は Biblioteca(図書館)、A は Archivi(アーカイブ)、S は Studi(研究)、E は Editoria(出版)の略)は、美術館に向かい合う建物にあります。図書館、メディアライブラリ、現代美術アーカイブ、写真アーカイブ、建築アーカイブセンターが入っています。

### アルカンターラとは:

1972 年に設立されたアルカンターラ社は、メイド・イン・イタリアの品質を誇る最高級な素材を作り出します。アルカンターラ社(Alcantara S.p.A.)の登録商標であるアルカンターラ® (Alcantara®)は、無類の優れた感覚特性、外観の美しさ、特殊機能性を持ち合せた画期的なカバリング素材です。この驚くべき多様性を持つアルカンターラ®は、ファッション、アクセサリ、自動車、インテリアデザイン、家具、コンシューマ・エレクトロニクス、などさまざまな分野のリーダー企業により選ばれ、採用されています。また、サステナビリティ(持続可能性)に対して企業として真摯に取り組む関連する認証取得に取り組んでいます。環境保護を最重視するとともに、毎日使うもののよさを追求したい人のためのライフスタイルを提供します。アルカンターラは、全製造工程及び製品ライフサイクルから排出される二酸化炭素排出量の削減に努めています。2009 年に製造過程における二酸化炭素排出量を削減し、「カーボン・ニュートラル」認証を取得しました。さらに 2011 年には「ゆりかごから墓場まで」を対象に広げ製造工程に加えて製品ライフサイクルから排出される二酸化炭素も算出して認証を取得しています。また、サステナビリティ分野における企業のコミットメントを示すためにアルカンターラ社は、デュフズードより国際的な認証を得て、毎年、独自のサステナビリティレポートを公表しています。こちらは、ウェブサイト上からのダウンロードも可能です。本社をミラノに置き、生産拠点と R&D は、ウンブリア州の中心であるネラ・モントロにありま。

アルカンターラホームページ: [www.alcantara.com](http://www.alcantara.com)

アルカンターラ You Tube チャンネル(日本語): <http://www.youtube.com/user/AlcantaraJapan>

### 国際規格の取得認証:

UNI EN ISO 9001:2008 年取得認証 品質マネジメントシステムの国際規格

ISO/TS 16949:2009 年取得認証 自動車産業に特化した品質マネジメントシステムの国際規格

UNI EN ISO 14001:2004 年取得認証 環境マネジメントシステムの国際規格適合を示す認証

エコテックススタンダード 100:1994 年取得認証 製品との接触が人体に害を与えないことを保証

Authenticity 認証: インテリアデザイン業界で制定された正規品であることを保証する認証

SA8000 認証: 2008 年 3 月認証取得 社会的説明責任へのコミットを実証する国際規格

カーボン・ニュートラル認証: 2010 年取得認証 二酸化炭素排出を環境プロジェクト支援によりゼロ化

本資料及び写真などに関するお問い合わせ先:

榎井之上パブリックリレーションズ

アルカンターラ広報担当: 渡辺・ベーカー・小島

〒160-0004 東京都新宿区四谷4-34 新宿御苑前アネックス2階

Tel: 03-5269-2301 Fax: 03-5269-2305

E.mail: [alcantara@inoue-pr.com](mailto:alcantara@inoue-pr.com), E.mail: [kazuko.watanabe@inoue-pr.com](mailto:kazuko.watanabe@inoue-pr.com)